

令和8年度 昭島市立清泉中学校
美術 年間指導計画・評価規準〔第1学年〕

学期	月	時数	題材名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	1	オリエンテーション	自身の内面にある美しさに対する感情に関心をもち、自己の発見と美意識と美術に対する関心を持つ。	小学校で得た知識を思い出し、美術科とは何かを考えることができる。	美術分野についての考察を深め、自分の身近にある美しいと思うものを言葉で表現することができる。	自分の考える美しさとは何かを考え、自分が今まで身につけたものの中から、自分らしい美術を見つけようとしている。クラスメイトの発想に耳を傾け、関心を示そうとしている。
	4 5	5	表紙制作と鑑賞	今までの学校生活で得た知識を工夫して自分らしく、学習に使う道具としてのファイルの表紙を制作する。	小学校の図画工作と自身の経験から得た知識と技術を活用し、美術科の表紙として機能するデザインを制作することができる。	自分らしいモチーフを選択し、色や形を駆使した表紙のレイアウトを構成し、デザインすることができる。	美術という科目において、自分が使う教材であることを前提とした表紙を工夫して制作しようとしている。
	6	5	色と形	身の回りには様々な形や色があり、そこから受ける印象や表現について理解する。 色鉛筆と絵具の基本的な使い方や、効果を理解する。	色にはそれぞれの効果や役割があり、その使い分けと色彩学について理解することができる。 色鉛筆や絵の具等、画材の使い方を理解し、効果的に塗ることができる。	色の持つ働きと、色相環における働きを意識しながら、それぞれの色の混色を試行錯誤して見つけ出すことができる。	人それぞれのものの見え方の違い、自分に見えている色という概念について考察し、色相環の形にしようとして工夫している。
	7	4	デッサン	鉛筆による多様な表現に関心をもち、モノクロならではの効果をもとに主題を生み出す。主題をもとに、鉛筆の使い方を工夫して白紙の上にそのものを写し取る、ものを観察する目を養う。	モノクロ鉛筆での表現の多様さを知り、その表現を生かして作品を制作しようとしている。物の形、光のある方向、影のつき方、モチーフの持つ厚み、立体形をよく観察して表現することができる。	白と黒の制約の中で、無から有を生み出す方法を試行錯誤して様々な手法を工夫して作品を制作することができる。	鉛筆を通して美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に白黒の中から生まれる表現を楽しみ、モチーフを観察して無から有を生み出そうとしている。
2	8	4	鑑賞	美術史という学問について学習し、印象派の時代の絵画と画家について理解する。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、作者が作品に託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解することができる。	美術作品などに取り入れられている自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解することができる。	美術の歴史に興味を持ち、積極的に印象派の特徴を見出そうとしている。
	9 10	8	風景画	日常の中に潜む美しさ、自然と、人工物との融合から得られる美しさを見つける。	自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、作品として成り立つように造形を作り出すことができる。	身の回りにあるものの中に美しさを見つけ、固定概念にとらわれず自分の作品を工夫して制作することができる。	柔軟な発想でさまざまな素材を工夫して組み合わせようとしている。
	11	4	不透明水彩の混色	中学で新しく使う「不透明水彩絵の具」の特徴を活かした混色や風合いを理解する。	「不透明水彩」の特徴を活かした混色と塗り方を身につけ、適切な色を作り出すことができる。	「不透明水彩」の特徴と色合いの違いを見出し、その質感を活かした作品を作ることができる。	「不透明水彩」の特徴を活かした色や質感を見出そうと工夫して試そうとしている。

	12	4	レタリング	基本的な活字体の明朝体とゴシック体を学習し、拡大して完全に模写する。	字体、フォントの役割と意味について理解し、明朝体とゴシック体の特徴を学習し、見本を見て書くことができる。	人間が文字を作り、字体が多岐にわたる意味に思いを馳せて適切な字体を選択することができる。見本を見て背角に書き写すことができる。	対象を細かく観察して正確に文字の形をとらうとしている。
3	1 2 3	10	絵文字	デザインされた文字を鑑賞して、漢字に含まれた意味を絵で表現する。	漢字に含まれた意味を絵で表現しながら漢字としても読むことのできる絵文字を、効果的に表現できる。	構成や色の塗り方などを作品の内容を考えて工夫できる。	より良い作品にするように向上心と意欲を持つようとしている。 色の塗り方を工夫しより合理的にするように考えようとしている。
		45		評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品 ・ 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業、実習態度 ・ 作品 ・ 鑑賞プリント ・ ワークシート ・ 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業、実習態度 ・ ワークシート ・ 提出物